

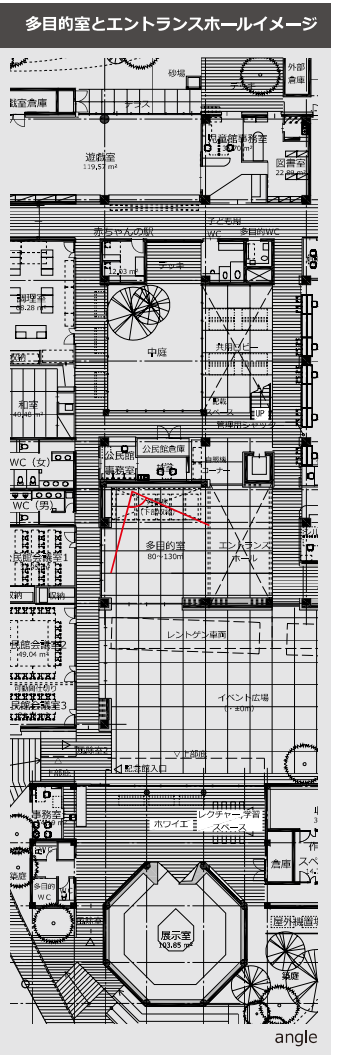
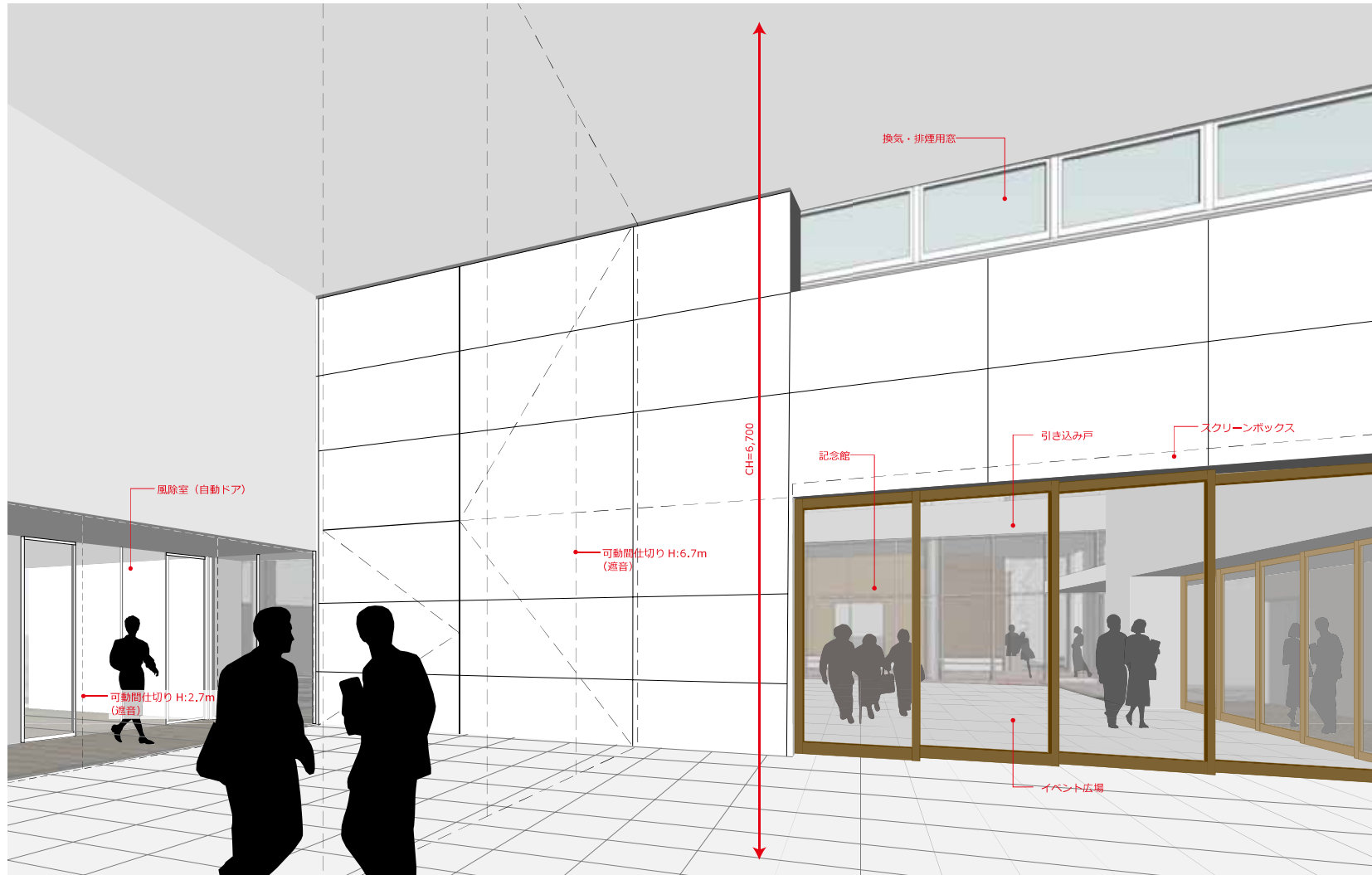
児玉総合支所建設基本・実施設計業務

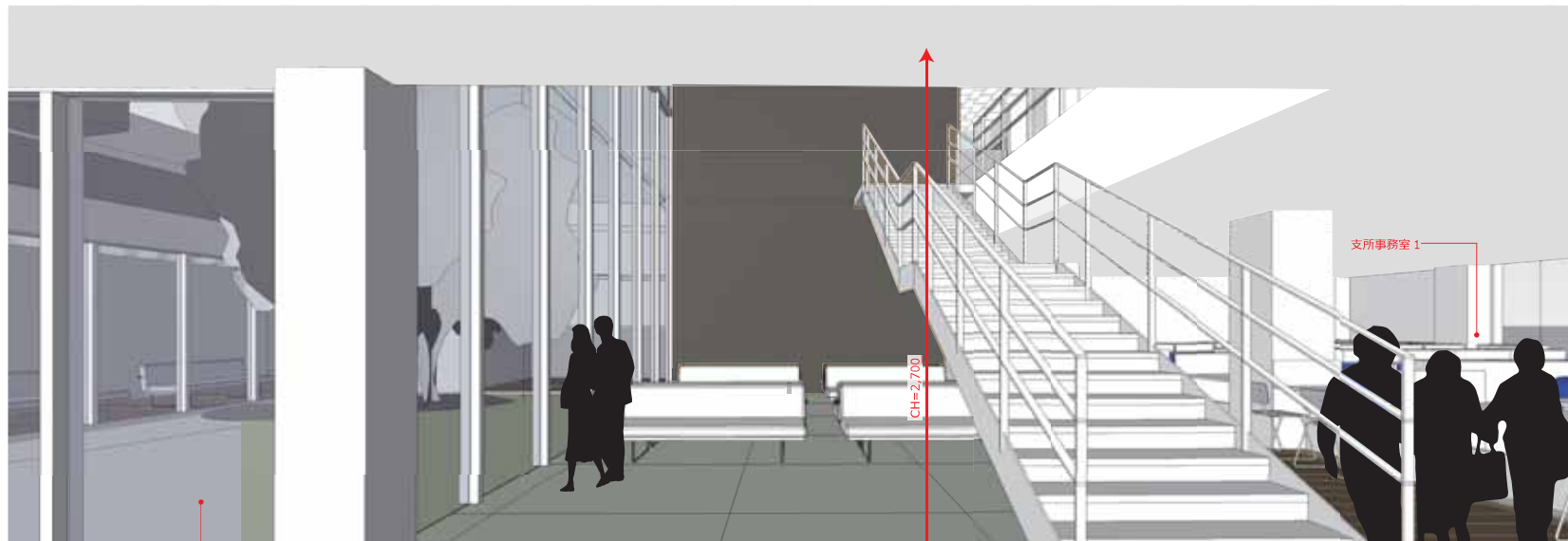
基本設計書【概要版】



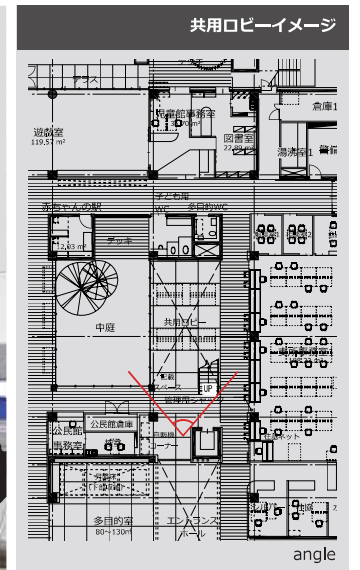
I_ はじめに (基本計画概要)
I-01_ 市民に開かれた対話型のプロセス
I-02_ 6つの機能
I-03_ 基本計画コンセプト
II_ 基本設計方針
II-01_ 複合の仕方
II-02_ 場の作り方
II-03_ 環境との向き合い方
III_ 施設計画
III-01_ 配置計画
III-02_ 平面計画
III-03_ 立面計画
III-04_ 断面計画
III-05_ 各部計画
○行政窓口機能
○生涯学習機能
○健康づくり機能
○展示情報発信機能
○子育て支援機能
○防災機能
○ポケットパーク / 外構
○内外装デザイン / マテリアル / 環境
○外壁廻り詳細
IV_ 構造計画
IV-01_ 構造計画概要 01
IV-02_ 構造計画概要 02
IV-03_ 構造計画概要 03
V_ 電気設備計画
V-01_ 電気設備計画概要 01
V-02_ 電気設備計画概要 02
VI_ 機械設備計画
VI-01_ 機械設備計画概要 01
VI-02_ 機械設備計画概要 02
VI-03_ 機械設備計画概要 03
VII_ 図面編
VII-01_ 計画概要 / 案内図 / 面積表
VII-02_ 各室仕上り諸元表
VII-03_ 配置図 / 外構図
VII-04_ 1,2 階平面図
VII-05_ 立面図
VII-06_ 断面図
VII-07_ 矩計図
VII-08_ 日影図
VII-09_ 構造図
VII-10_ 電気設備図
VII-11_ 機械設備図
VII-12_ 仮設計図
VIII_ 資料編
VIII-01_ 法規チェックリスト / 防火区画図
VIII-02_ 間取り・使い方シミュレーションワークショップ
VIII-03_ 環境施策項目 / 各種検討資料
VIII-04_ 議事録
VIII-05_ 受領資料
VIII-06_ 検討素案
VIII-07_ 衛生器具数検討資料
VIII-08_ 概算工事費

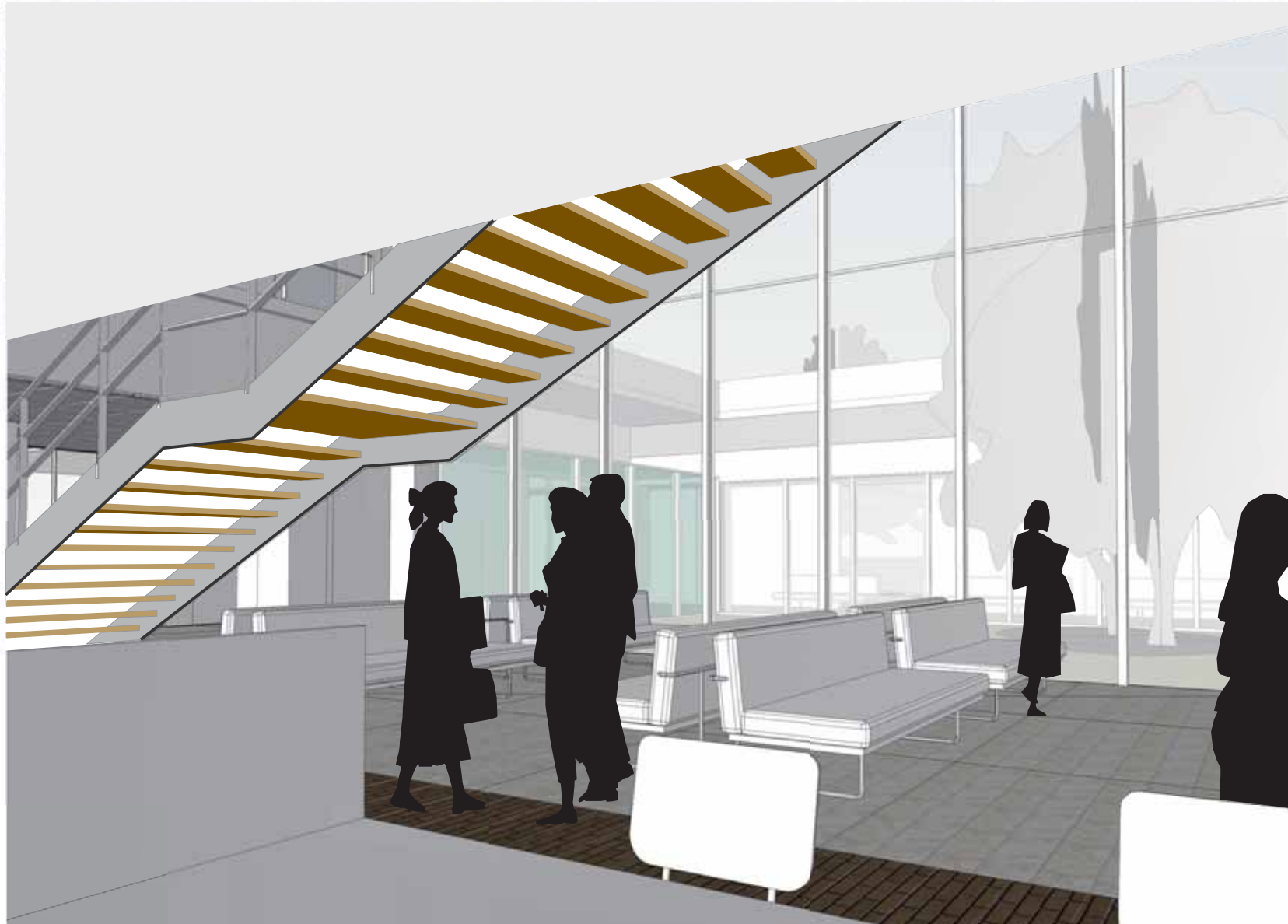




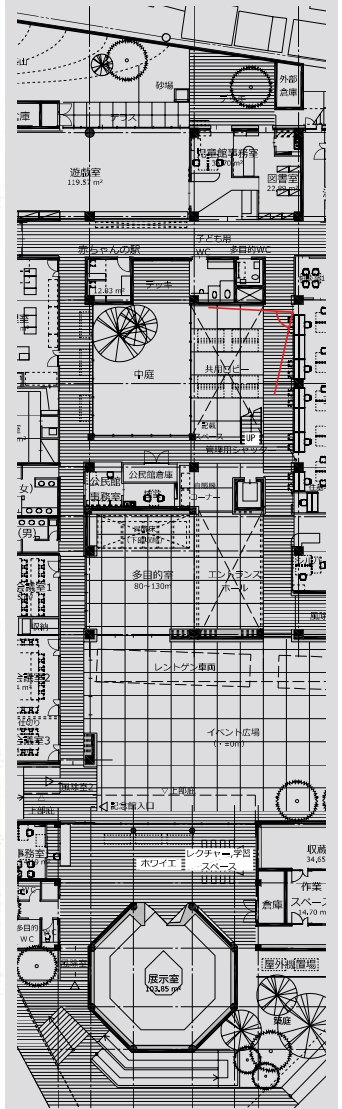


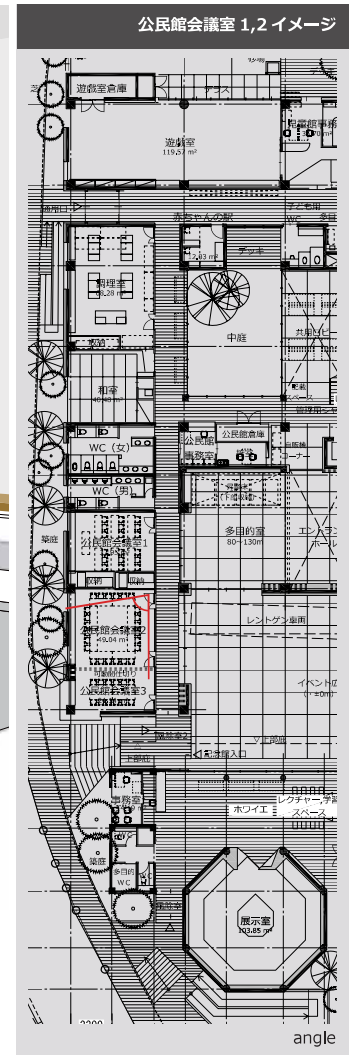
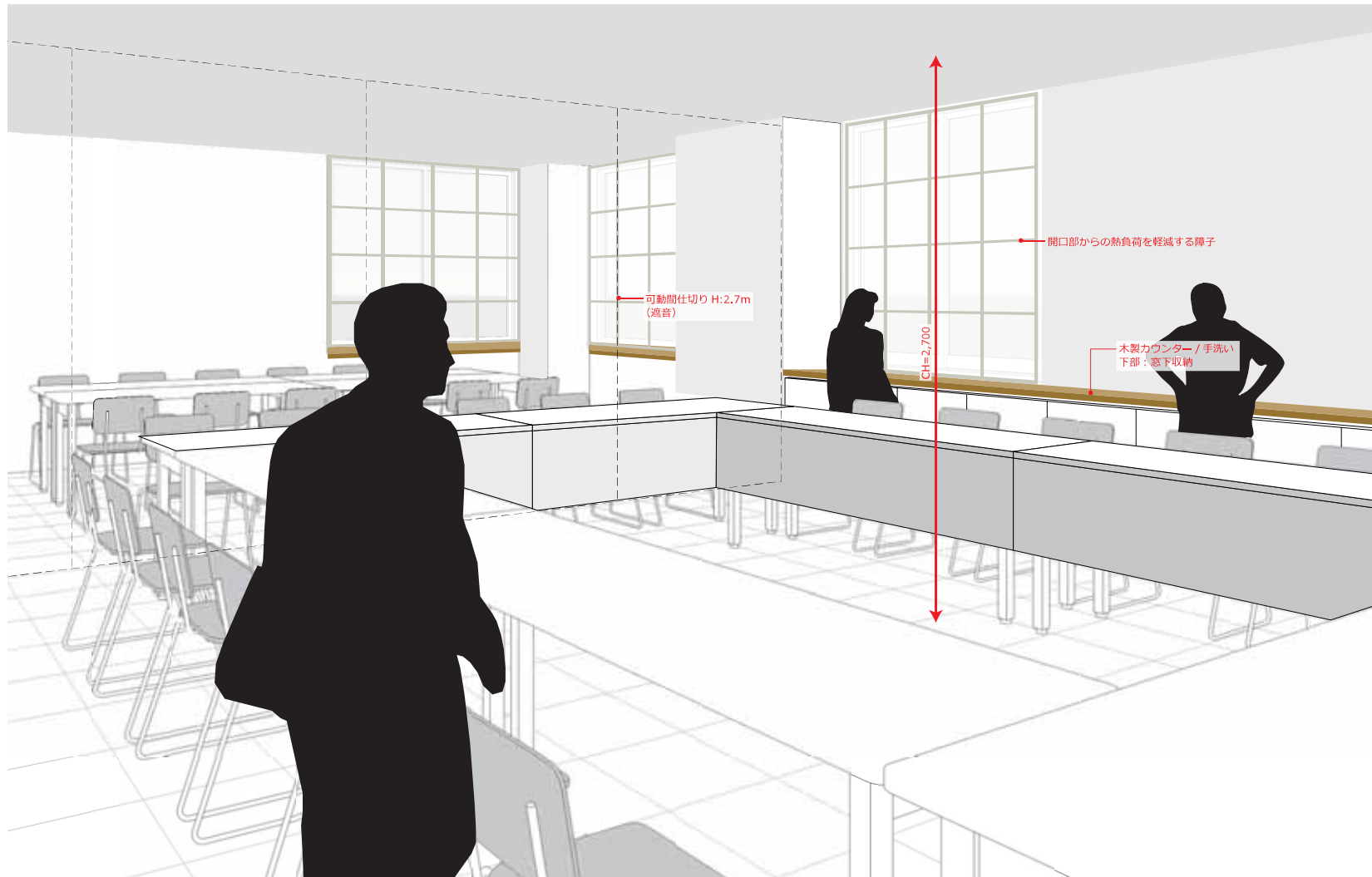
中庭

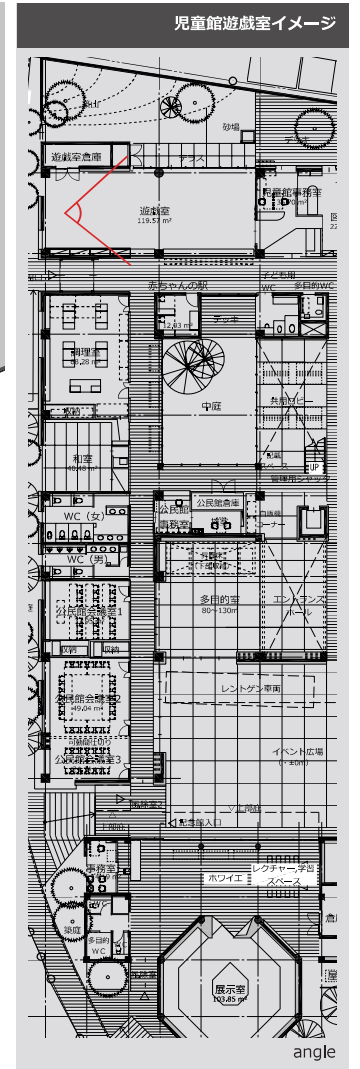
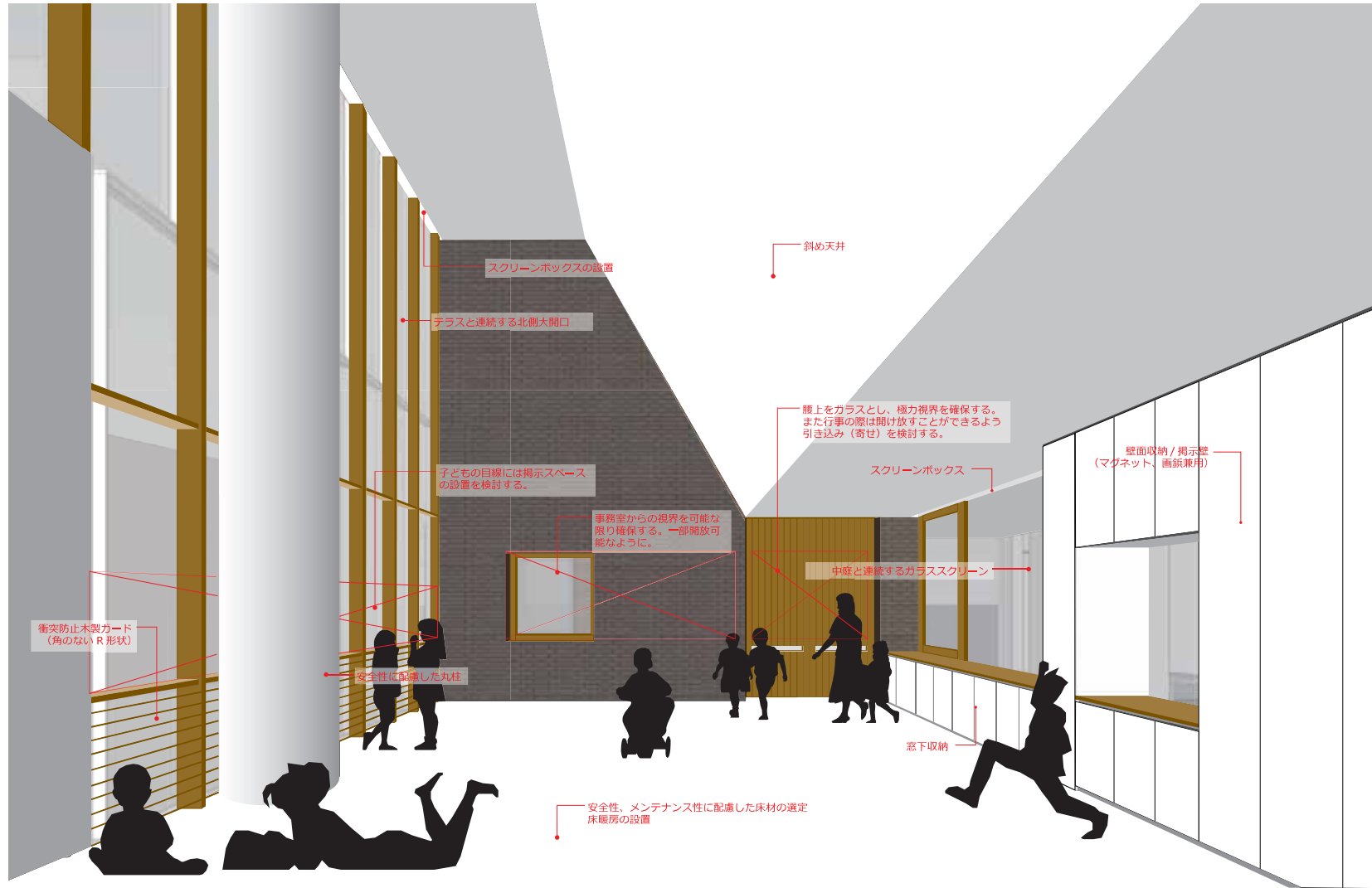


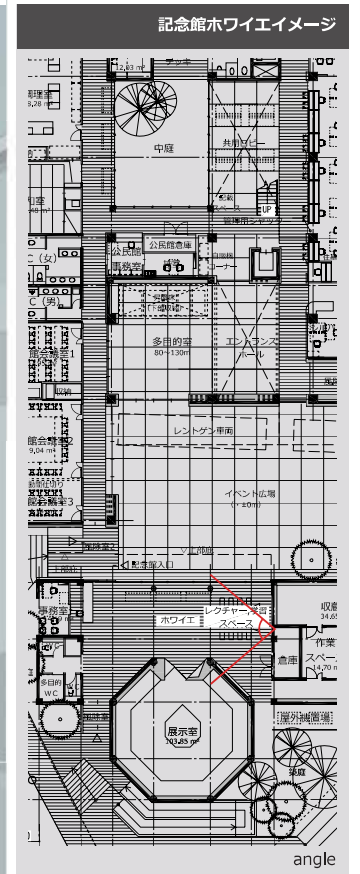
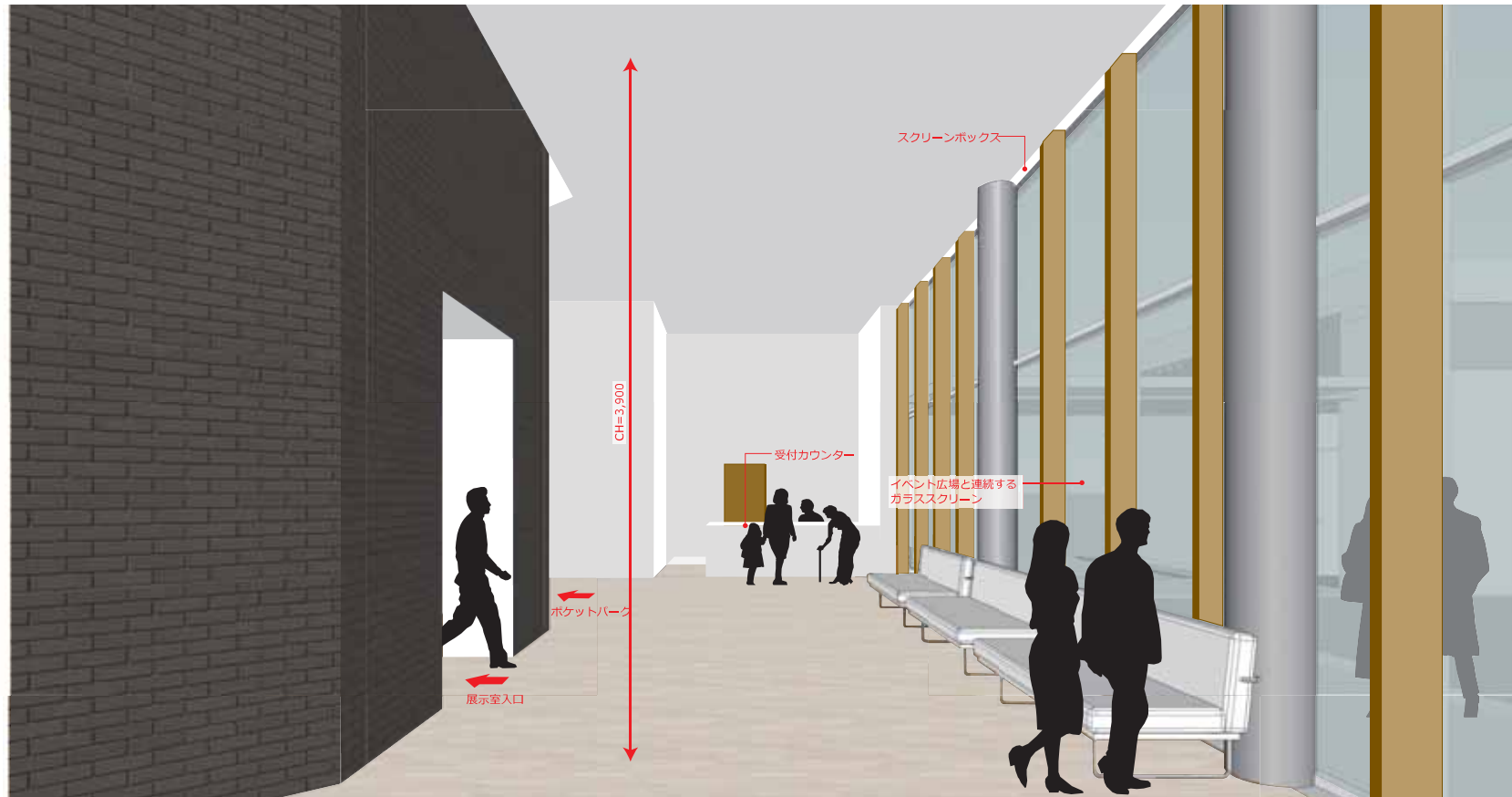


支所事務室から見る共用ロビーイメージ









I_はじめに（基本計画概要）

児玉総合支所建替えにあたり、地域に身近なサービスを提供する拠点とし、市民交流の機能を有した誰もが利用しやすい複合型施設の実現を目指し、以下の6つの機能を柱とした基本計画コンセプトに基づき設計を行います。

I-01_市民に開かれた対話型のプロセス

誰もが利用しやすく、ユーザーである市民ニーズを踏まえた計画とするために、「市民アンケート」や「公共施設再配置・複合施設機能検討懇談会」を行い地域に身近なサービス提供拠点となる市民に開かれた複合型施設とする。これらの市民ニーズを踏まえ、次項「6つの機能」と「コンセプト」を設定した。

I-02_6つの機能

- 【行政窓口機能】 市民サービスの提供拠点となる児玉総合支所
- 【生涯学習機能】 他機能との連携を強化しつつ、多様化する市民ニーズにも対応可能な児玉公民館
- 【展示・情報発信機能】 堀保己一の業績による貴重な遺品等の展示、保管場所を整備した堀保己一記念館
市及び児玉地域の歴史文化の情報発信、観光 PR 拠点としての機能
- 【健康づくり機能】 児玉地域の方々の健康づくりの場や健診等の実施場所に対応する機能
- 【子育て支援機能】 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、また情操を豊かにする児童館
- 【防災機能】 災害時の一時避難場所として安全安心な建物と機能を有する地域防災の拠点としての機能



I-03_基本計画コンセプト

- 多様化する地域ニーズに応えた【こだまの新複合型施設】
 - ・機能の複合化による、効率と利便性の向上
 - ・多様化するニーズに柔軟に対応する機能性の確保
- 地域に寄り添う安全安心な【こだまの拠り所】
 - ・多様なサービス、賑わい、多世代交流の拠点
 - ・堀保己一の業績と遺品等が日常に寄り添うと共に、歴史文化の情報発信や観光 PR の拠点
 - ・災害時の避難場所として安全安心な地域防災の拠点
- 近隣、地球環境に配慮した【こだまの公園】
 - ・サービス、賑わい、交流、憩いを求めて市民が自然に集まるような身近な公園として
 - ・大人の目が行き届く安全安心な子どもの遊び場として
 - ・地球環境への配慮と共に、近隣環境とも共存するモデルケースとして
- 歴史や経験、記憶を蓄積する【こだまの優しい家】
 - ・機能の複合と共に経験や記憶も複合（共有）できる設えを備えた安らぎの場として
 - ・児玉の原風景となり、人々の心に残るような場として

II_基本設計方針

II-01_複合の仕方

- 「集まること」のメリットを活かした施設構成
 - ・それぞれの機能毎にまとまりのあるゾーニングとし、効率と利便性を両立する。
 - ・エントランスホールやロビー、中庭、広場等の共有空間を中心とした平面計画とし、多世代交流を促す空間構成とする。
 - ・それぞれの機能を回遊動線でつなぐ動線計画とし、多様な関係性を創り出す。
 - ・利用型機能を1階にまとめる階構成とし、利便性と賑わいを創出する。
 - ・共有や多目的利用を前提とした設えとする。
- 「集まること」のデメリットの把握
 - ・複合することで生まれるデメリット（プライバシー、騒音、共有ルール等々）も十分に検討、把握する。
 - ・利用型機能と業務系機能を極力分節する。
 - ・機能毎の利用時間帯や活動性の違いを把握し、計画に反映する。
 - ・地域の交通事情や複合化による利用者増を考慮し、現状以上の駐車台数を確保する。
- 市民ニーズに応えた児玉地域に相応しい新たな複合型施設
 - ・利用者を中心とした「間取り・使い方シミュレーションワークショップ」「高校生アンケート」を行い、より具体的なニーズを把握し、設計に反映する。
 - ・市内類似施設の調査及びヒアリングを行い現状の問題点や親しまれている点などを把握し、設計に反映する。

II-02_場の作り方

- 多様なサービス、賑わい、交流、憩いの拠点としての場
 - ・まとまりのある各機能専用スペース、各機能を結ぶ回遊動線、各機能共有スペース（内外部）を効果的に配置し、単独利用や共通（交流）利用など多様なニーズに対応可能な施設構成とする。
 - ・回遊動線は単なる動線として扱うのではなく、溜まり（広めの廊下幅、ベンチ、ソファの設置など）や簡単な展示機能（展示ボードや掲示レールなど）を持たせ、賑わいや交流、憩い機能を持たせる。
 - ・各機能で共有する広場は、多様なイベントに対応可能な舗装強度、仕上げとする。
 - ・庇やベンチ等を設置し、地域の憩いの場として計画する。
- 人々が自然に集まるような身近な公園としての場
 - ・周辺地域との接点となる敷地南側に、施設内回遊動線と連続させるようにポケットパークを計画し「地域の居場所」として位置付けた設えを施す。
 - ・法令遵守した緑化計画とすると共に、居心地の良い内外部空間を創出する。
- 児玉地域の家としての場
 - ・利用者個々の家の延長として感じて頂けるよう、親しみのある優しいヒューマンスケールな建築を計画する。
 - ・既存のタイムカプセルを継承し、保管スペースを確保すると共に子どもたちにとっての原風景となるよう、地域の子どもたちの居場所を計画する。
 - ・簾や格子戸、障子、木の仕上げ、左官仕上げなど、「自然」「和」のマテリアルを積極的に採用し、落ち着いた親しみのある住宅のようなデザインとする。

II-03_環境との向き合い方

- 地球環境との向き合い方
 - ・自然エネルギーを最大限享受できるようパッシブデザインを徹底する。
 - ・耐震性、省エネ性、維持管理の容易性、構造躯体の耐久性、フレキシブル性など、各種性能確保を目指すことで建物の長寿命化を図る。
 - ・太陽光や太陽熱、地熱、風、バイオマスなどの再生可能エネルギーを積極的に利用することを検討する。
- 地域環境との向き合い方
 - ・近隣民家への日影、騒音の影響を考慮した配置計画とする。
 - ・地域の街並みのスケール感に溶け込むようなボリューム計画とし、圧迫感を排除する。
 - ・景観の連続性を確保したマテリアルを採用する。
 - ・「地域の居場所」を目指したポケットパークを拠点に、地域のランドマークや拠り所となるよう配慮する。

Ⅲ-01_配置計画

○建物配置計画

- ・東側及び北側の隣地への日影の影響を最小限とし、現状より改善することを前提とした建物配置とする。
- ・イベント広場や中庭などの外部空間を取り囲むような建物配置とする。
- ・西側前面道路側は、道路境界線より約2m程度セットバックし将来の歩道用地として確保する。
- ・都市計画道路（3.4.3 役場前通線）施工後の施設としての構えを意識した建物配置とする。

○駐車場配置計画

- ・駐車台数 65 台（内車いす用 2 台）、駐輪バイク置場 26 台（屋根付き、分散配置）を計画する。
- ・南側前面道路からの出入口は、現状より広くとり視界を十分に確保し安全性に配慮する。
- ・駐車場は全体が見渡せる平面計画とし、安全性や利便性に配慮する。
- ・いずみ号、市内循環バスの待機スペースは、敷地奥に確保し安全性に配慮する。
- ・検診車両（最大 L9980×W2490×H3560/12.8 t）が乗り込める車道幅、路盤強度を確保する。

○外部動線計画

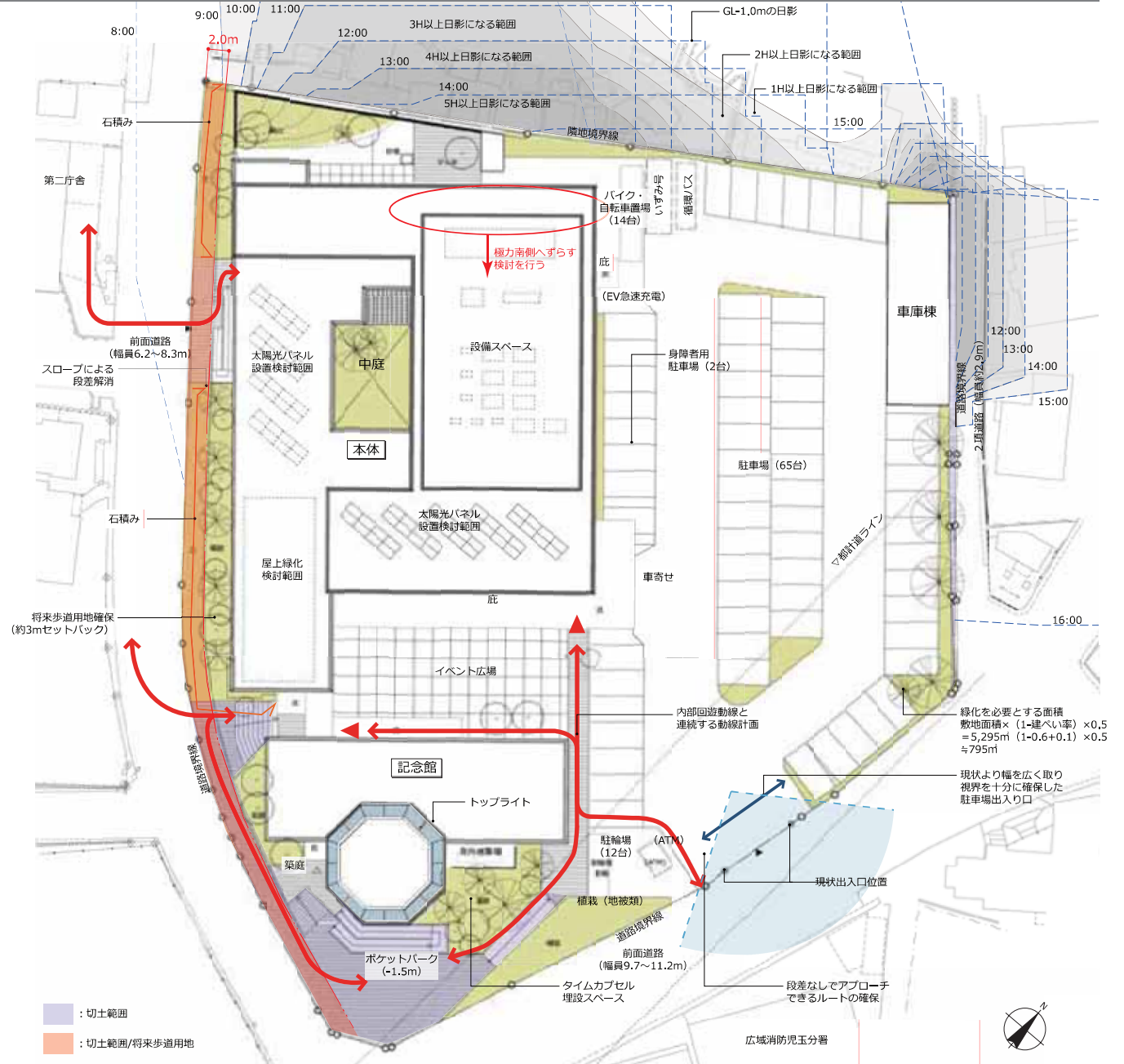
- ・施設メインエントランスと車寄せが一致する誰もがわかりやすいアプローチとする。
- ・イベント広場やポケットパークなど外部空間と内部回遊動線が連続するような動線計画とする。
- ・前面道路との高低差はスロープ等で段差解消をし、段差なしで施設へのアプローチができるルートを確認する。
- ・第二庁舎への動線及びポケットパークから記念館へのアプローチは、階段にスロープを併設するよう検討する。

○外構計画

- ・イベント広場舗装は、検診車両の乗り入れや臨時駐車場としての利用想定をした耐荷重及び仕上げ材料とする。
- ・既存石積み擁壁をやり替え、石の再利用は検討とする。
- ・敷地内の視認しやすい位置に懸垂幕を計画する。
- ・築庭内に、既存タイムカプセルの埋設スペースを確保する。
- ・既存 ATM は残置とする。

○植栽計画

- ・関係法令を遵守した敷地内緑化を計画すると共に、市民の憩いの場として相応しい植栽計画とする。
- ・維持管理に配慮した植栽計画とする。
- ・敷地出入口付近は、安全性、視認性の確保のため立木による植栽は極力避け、地被類をベースとした計画とする。



Ⅲ-02_平面計画

○全体ゾーニング

- ・メインエントランスから各機能配置がわかりやすいよう機能毎にまとまりのあるゾーニングとし、利用時間帯の違いやセキュリティ、維持管理性に配慮した平面計画とする。
- ・イベント広場や中庭、ロビーなどの内外共有空間を介して各機能が多様な関係性を創りだすことのできる平面構成とする。

○動線計画

- ・各機能を回遊動線によりつなぎ、各機能の独立性と多様な関係性を創りだす動線計画とする。
- ・内外一体利用を積極的に想定し、フレキシブル性を確保する。
- ・メインエントランスからわかりやすい位置に縦動線（階段、ELV）を配置する。
- ・バリアフリー/ユニバーサルデザインに配慮した計画とする。
- ・外部階段を設置し、二方向避難動線を確保する。

○行政窓口機能

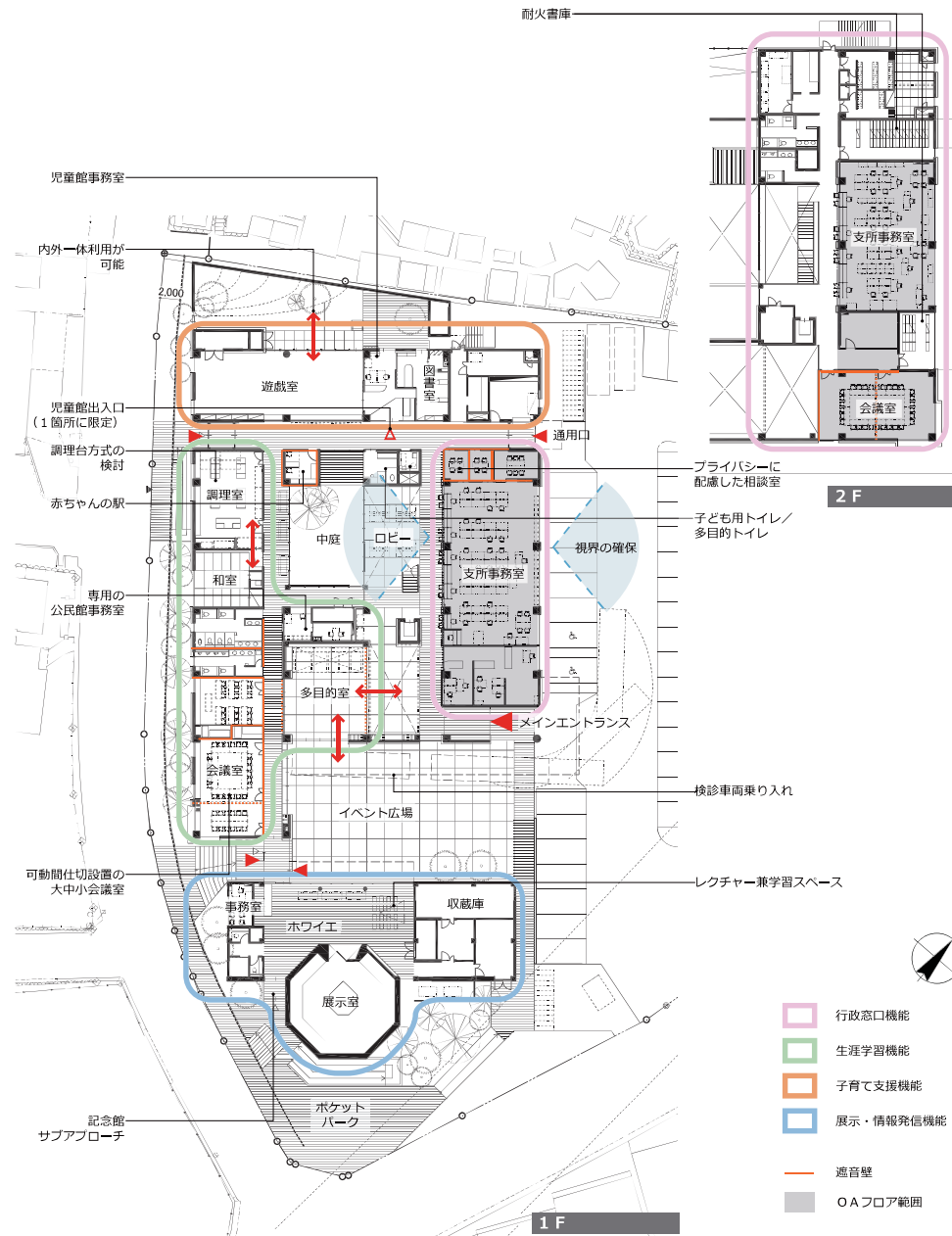
- ・想定配置課係は以下とする。
 - 1F) 市民福祉課（市民係、保険子育て係、福祉係、税務係）
 - 1F) その他水道窓口、社会福祉協議会、シルバー人材センター
 - 2F) 環境産業課（環境係、産業係）
 - 2F) 総務課（地域振興係、庶務係）
- ・敷地のほぼ中央に配置し、施設内及び駐車場等敷地全体を見渡せるよう配慮し、極力死角のないよう計画する。
- ・メインエントランスにより近い位置に配置し、高いサービス性を確保する。
- ・書庫は耐火書庫（ガス消火）とする。
- ・相談室のプライバシーに配慮し、遮音性を確保する。

○生涯学習機能

- ・専用の公民館事務室をエントランスホール脇に確保する。（配置1名）
- ・会議室は大中小3室確保し、可動間仕切りにより一体利用が可能なように計画する。
- ・調理室と和室は隣接配置し、直接相互入りできるように出入口を確保する。
- ・調理室は別用途利用も可能なように、可動式調理台の検討を行う。
- ・利用団体用収納スペースを確保する。
- ・多目的室は可動間仕切りによってエントランスホール側に機能拡張が可能な計画とする。
- ・遮音対策を施すと共に、業務に支障のないよう音での活動は極力夜間や休日の利用を促す。

○健康づくり機能

- ・特定健診、各種がん検診、乳幼児健診が対応可能なよう主に生涯学習機能諸室を利用する計画とする。
- ・多目的室は、健診時に拡張して利用できるよう可動間仕切りを設置する。またイベント広場に隣接させ、検診車両との動線を考慮する。
- ・検診用什器の収納スペースの確保と手洗いを設置する。



○展示・情報発信機能

- ・記念館は、その特殊性から他機能とは分節配置し、独立性を確保する。
- ・イベント広場側にメインの入口を設けると共に、ポケットパーク側にもサブの入口を計画する。
- ・団体利用時のパツファとして、ホワイエやイベント広場を想定した計画とする。
- ・映像による説明を行うレクチャー兼学習スペースを確保する。
- ・展示室は、現状の展示計画をベースとする。
- ・展示ケースは展示室同等の調湿度管理とする。
- ・収蔵庫は30m程度確保し、外部環境に影響されにくい仕様とする。

○子育て支援機能

- ・セキュリティに配慮し、出入口を1か所に絞り入退館管理できるように計画する。
- ・児童館事務室は、内外見渡せる配置とし視界と安全性を確保する。
- ・子ども用トイレや、多目的トイレ、赤ちゃんの駅を児童館に近接したゾーニングとして利便性を高める。
- ・床材は、安全性や衛生面に配慮した素材を選定する。
- ・図書室の一部は、掲示物等の作業スペースとして兼用しフレキシビリティに配慮する。
- ・遊戯室倉庫、外部倉庫、洗濯機置場を確保する。
- ・外部水栓、砂場、築山、デッキスペース等を計画し、積極的な内外一体利用が可能な計画とする。

○防災機能

- ・一時避難場所として生涯学習機能の和室、多目的室を想定する。
- ・児玉地域の防災拠点、災害対策本部代替施設として行政窓口機能の2階事務室、2階会議室を想定する。
- ・職員等詰所として生涯学習機能の会議室2・3を想定する。
- ・建物のバリアフリー化や防災行政無線、防災倉庫、土のう置場を確保する。
- ・マンホールトイレ3か所、炊き出しスペース、シャワー設備を確保する。
- ・太陽光発電と風力発電のハイブリッドタイプのエコ外灯を設置する。

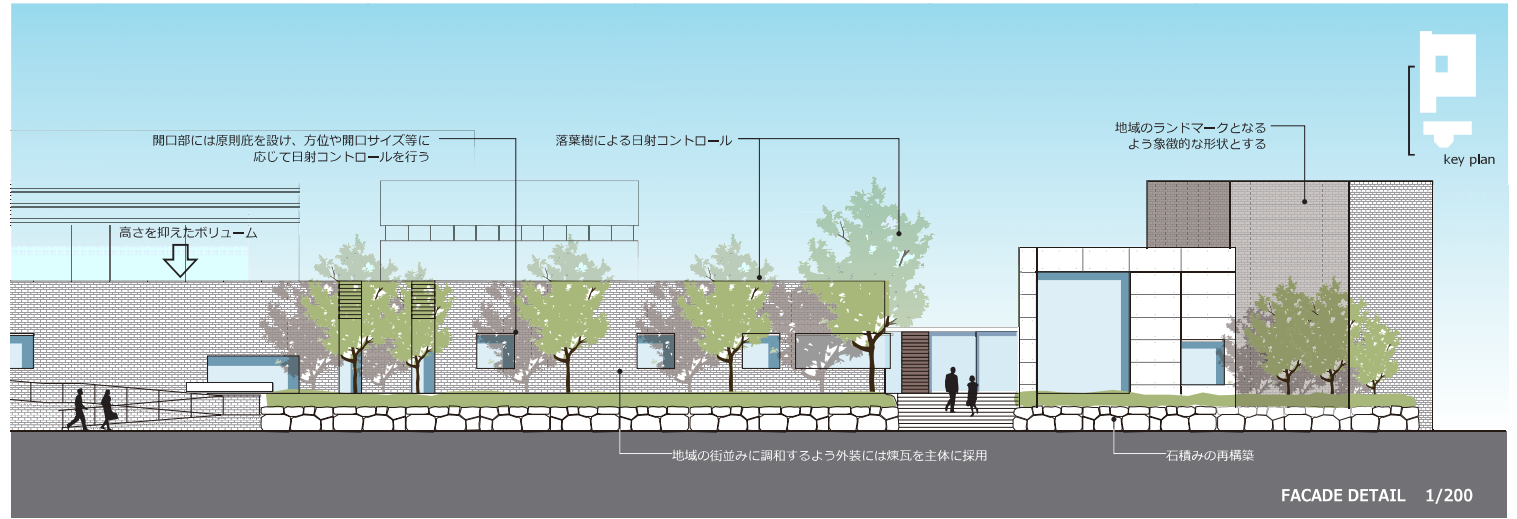
○その他共用部

- ・検診利用等も考慮に入れた位置にトイレを計画する。
- ・駐車場側北側に通用口を設け、警備室を配置する。
- ・エントランスホール脇に自販機コーナーを設置する。

III-03_立面計画

○景観 / マテリアル

- ・地域に調和する外観となるよう自然素材をベースに検討し、外装には煉瓦を主体に採用する。
- ・基壇には既存の石積みを再構築し、地域の記憶を継承する。
- ・地域の身近な公園のような景観を創りだし、気軽に立ち寄れる施設となるよう配慮する。
- ・西側ファサードは、周辺への圧迫感を与えないよう高さを抑えた建物ボリュームとする。また、適度にボリュームを分節させ、地域のスケール感に調和させる。
- ・南側ファサードは、主要幹線道路が二股に分かれる場所に位置するため、象徴的なボリュームを形成し地域のランドマークとして位置付ける。
- ・東側ファサードは、施設の顔として来館者を迎え入れるような構成とする。またイベント広場と駐車場が隣接するため、透かし煉瓦積み目のスクリーンにより歩車分離と視線の広がりをも両立する境界を形成する。
- ・北側ファサードは、目隠し壁や築山によって隣地とのバッファを形成し、子どもの遊び場として豊かな空間を形成する。
- ・塙保一記念館は、本体とは切り離し、独立性を確保する。



III-04_断面計画

○断面ゾーニング

- ・行政窓口機能の一部を除き平屋建てを基本とする。
- ・市民福祉課カウンターや公民館、児童館、記念館の利用型機能を1階にまとめることで、利便性と賑わいを創出する。
- ・行政窓口機能のサービス部門（更衣、休憩、倉庫、書庫等）、総務課及び環境産業課カウンターはコンパクトに2階に設け、効率性に配慮する。
- ・敷地の中央部分に位置する2階屋上にキュービクルや発電機、室外機置き場を計画することで、近隣への圧迫感や騒音の影響を軽減する。

○各部断面計画

- ・設計GLをT.P.+102とし、Z1レベルを設計GL+100に設定する。
- ・基本階高を1,2階共4,000mmに設定する（検討中）。
- ・基本天井高を2,700mmに設定する（検討中）。
- ・多目的室や遊戯室などの比較的大部屋の天井高は6,700mmとする（検討中）。
- ・適切な庇の計画や開口部の設定等をし、自然採光や自然通風、自然換気など自然エネルギーを最大限享受可能な断面計画とする。
- ・記念館展示室は、上部トップライトから採光をとり、透かし煉瓦積みスクリーンを透過させた安定した光を取り込む。



Ⅶ-01-01_計画概要

○敷地概要

所在地： 埼玉県本庄市児玉町八幡山 368 番地
 敷地面積： 5,321.54 m² (道路後退分 27.22 mを含む)
 都市計画区域： 都市計画区域内
 用途地域： 第一種中高層住居専用地域
 第一種住居地域 (過半)
 防火指定： 指定なし
 高度地区： 指定なし
 道路幅員： (南側) 9.7 ~ 11.2m
 (西側) 6.2 ~ 8.3m
 (東側) 2.9m/42条二項道路
 指定建蔽率： 60%
 指定容積率： 200%
 日影規制： 4h-2.5h/4m
 上水道： 給水本管 100φ
 下水道： 排水本管 150φ
 ガス： プロパン
 電力： 高圧 6.6kV1 回線架空引込
 非常用発電機： 保安用単相 100kVA (検討中)

○建物概要

工事名称： 児玉総合支所建設工事
 用途： 支所 (主たる用途)、
 学校図書館その他これらに類するもの
 (児童館、公民館)
 博物館 (塙保己一記念館)
 規模 建築面積： 約 1,780 m²
 1階床面積： 約 1,780 m²
 2階床面積： 約 603 m²
 延床面積： 約 2,383 m²
 建物高さ： 10.5m+ (設計 GL- 平均地盤面)
 構造： 鉄筋コンクリート造
 基礎： 直接基礎

Ⅶ-01-02_面積表

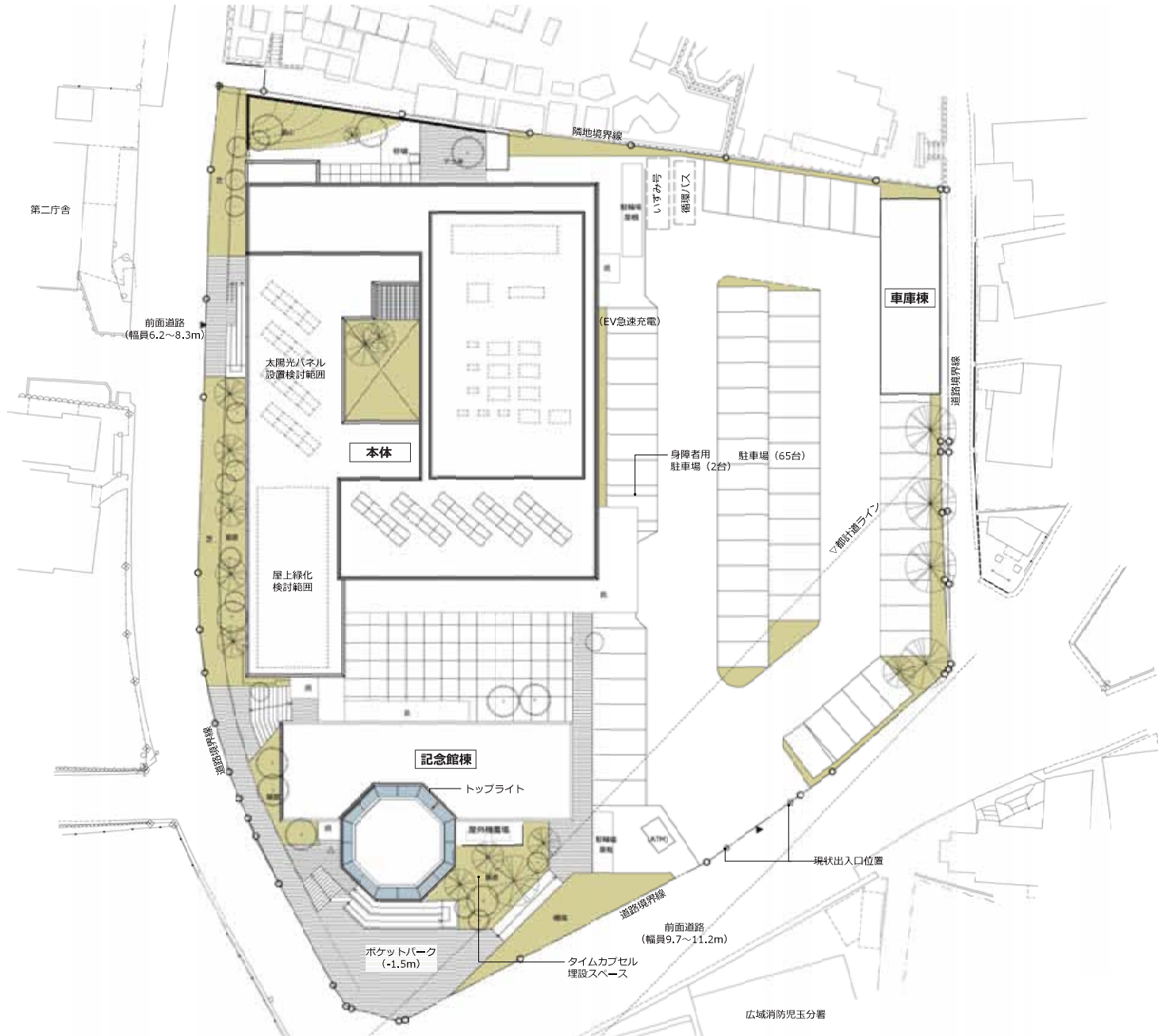
	本体					車庫	合計
	支所	公民館	児童館	記念館	計		
1F専有部	242.50	327.12	208.35	319.67	1,097.64		
共用部按分	126.87	171.14	109.00	167.24	574.25		
1F計	369.37	498.26	317.35	486.91	1,671.89	108.59	1,780.48
2F専有部	416.92				416.92		
共用部按分	185.65				185.65		
2F計	602.57				602.57		602.57
計	971.94	498.26	317.35	486.91	2,274.46	108.59	2,383.05

Ⅶ-01-03_案内図

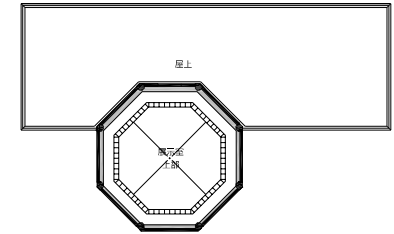
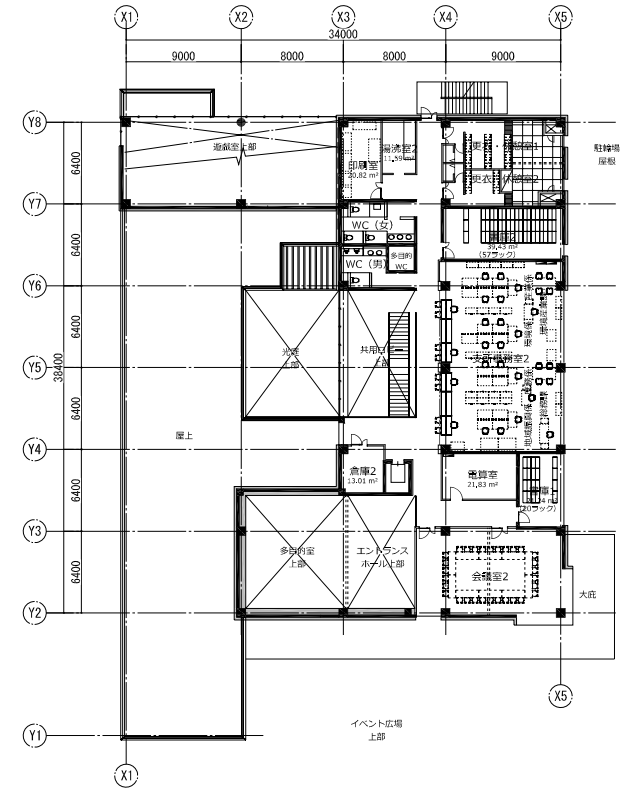


赤印は本計画により複合化される施設 (保健センターは検診機能のみ)

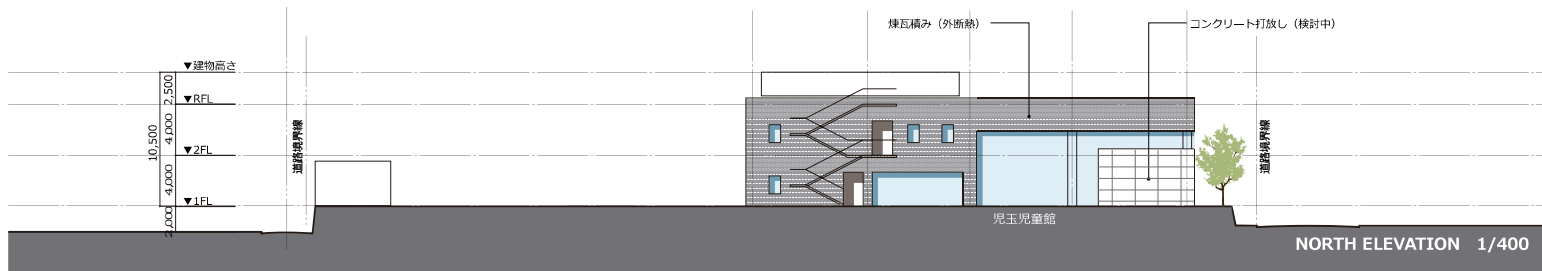
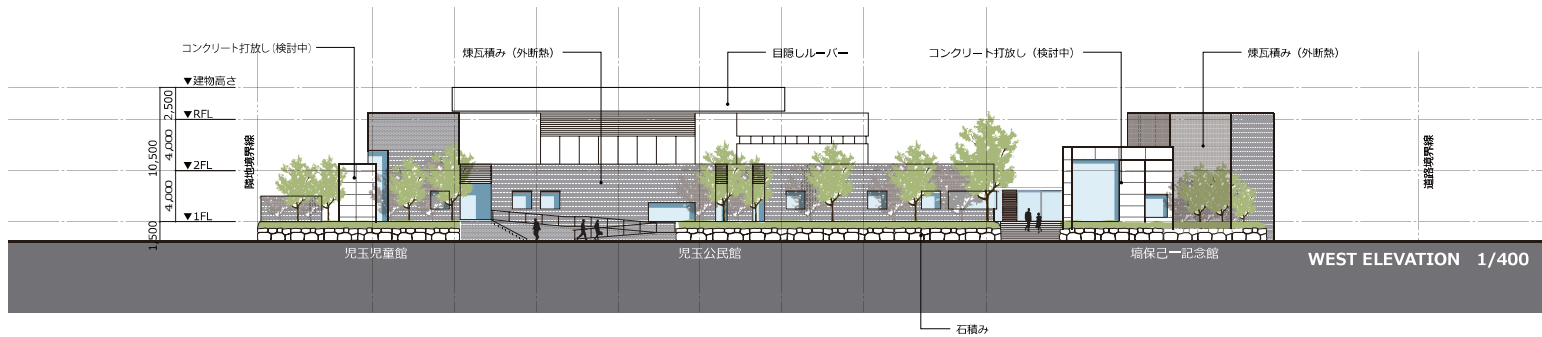
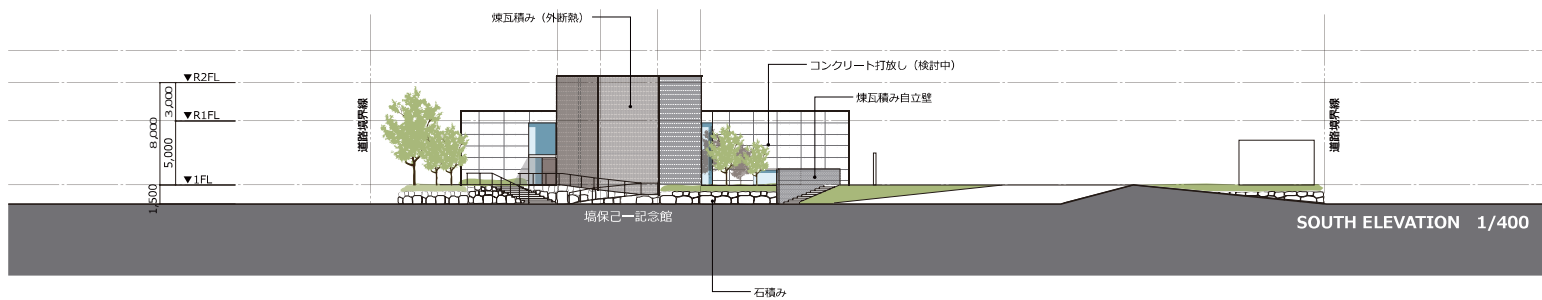
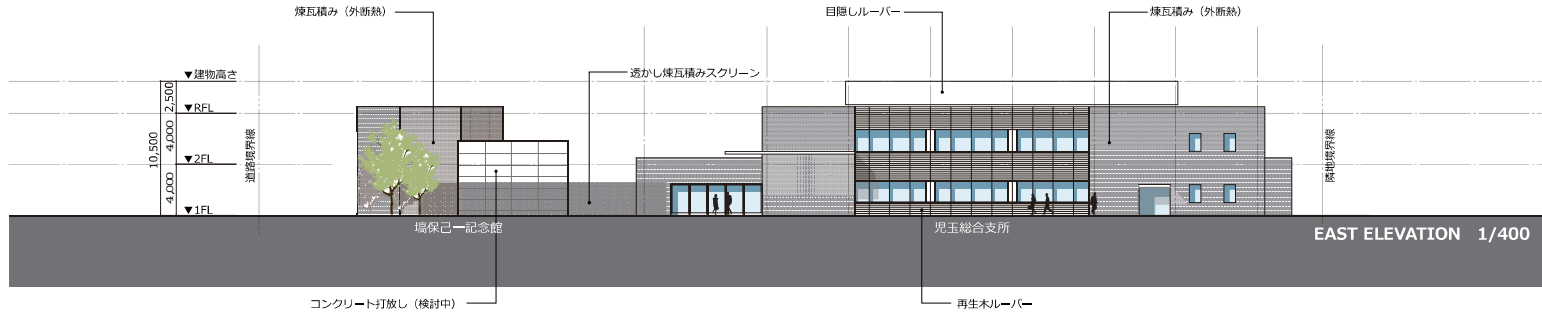
Ⅶ-03_配置図



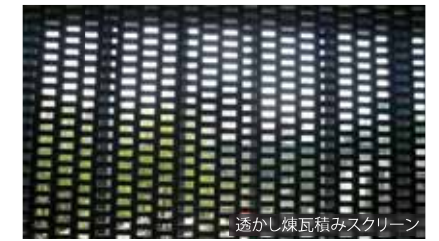
VII-04_1,2 階平面図



Ⅶ-05_立面図



マテリアルイメージ



VII-06_断面図

